



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成 29年5月18日
= 5 月 号 =

自転車乗車時にはヘルメット着用を!

新学期が始まり、二ヶ月が過ぎようとしています。この時期は気候が良いので、下校後、子ども達は友達と遊びに出かけることも多いかと思えます。

昨年度公表された交通事故分析レポートでは、「六五歳以上の高齢者への安全対策は重要であり、広く世間に知られているが、一歳刻みでの死傷者数を見ると七歳児の死傷者数が際立って多い」と警告しています。死傷者数は成人の二・五倍、高齢者の二倍となっています。

保育園・幼稚園時代は保護者の目が行き届く範囲で行動するため事故が少ないようですが、保護者の手を離れる小学校の低学年にかけて数年前に道路交通法の改正が行われ、自転車の走行ルールが厳格化されました。学校では、ルールを知らないまま自転車に乗っている子どもがいないように、交通安全教室を実施しています。

さて、小学生の自転車事故に関する裁判で次のような判例があります。小学五年生が自転車で行行中に高齢者の方と衝突。この子どもが起こした事故で、保護者に対して損害賠償責任を認められた判決です。

その男の子はスポーツ施設からの帰り道で、施設にヘルメットを忘れたまま急な下り坂を走行し、衝突する直前まで被害者に気がつきませんでした。自転車と衝突し、約二メートル飛ばされた高齢者の方は意識不明になりました。



保護者に対して、損害賠償を求めたところ、保護者は日常的に自転車の走行については指導し、事故のあった道路状況も把握していたと主張して、争いになりました。

判決では、小学五年生には責任能力を問わず、保護者に対して子どもがヘルメットをかぶらないまま自転車の走行していたことなどから、自転車に関する十分な指導や注意をしていざと言えず、保護者の監督責任を怠ったと指摘しました。そして、保護者は、損害賠償金として約九五〇万円を支払わなければならなくなりました。

最近、ヘルメットをかぶらずに自転車で走行している児童に対して、本校職員が指導をしている場面を見ることがあります。小学生であれば、安全面からヘルメットを着用させることはもちろんですが、お子さんがヘルメットを着用せずに自転車で走行中、事故の加害者になると、保護者の監督責任が大きく問われてしまいます。

お子さんが出かける時には、「いつてらっしゅい」「ヘルメットかぶった?」の一言を加えていただけるとありがたいです。

ご意見・ご感想をお聞かせください。

〈キリトリセン〉

お名前 ()

校長の独り言



先日、今富小学校出身の教え子が訪ねてきてくれました。ゆっくり話をするのは久しぶりなので、いろいろな話をしました。

彼は今、保険の外交員をしています。お客さんが希望する時間に訪問し、商品(保険)の説明をしなければならぬので、勤務時間はあつてないようなものだそうです。「大変な仕事だね」と言葉かけたところ、彼はこんな話をしてくれました。

「普通、商品は、車であれ家であれ、形があり目に見えるし、使い心地がどうかで満足度も実感できる。僕が売ろうとする商品は、形がないもの。そして、実際にはほとんど使わないもの。良い商品であっても、お客さんには良さや満足度は実感しにくい。契約してもらうために必要なことは、商品を紹介する自分が、とれだけお客さんから信頼してもらえるかである。一人一人のお客さんに『いいねい』に接するように努めている」

「いいねい」といふ言葉ですが、ある本にこんなことが書いてありました。「『いいねい』であるためには、相手に対しても自分に対しても『誠実』でなければいけない。相手の立場に立ってしっかりと話を聴ける誠実さ、自分の言動はこれくらいかと内省できる誠実さのことです。」

横着にならず、誠実に人や仕事と向き合うことの大切さを、教え子から教えてもらいました。



ボランティアの矢野さんが、職員玄関に入って右側にある陳列棚の上に、いつもお花を飾ってくださいます。今回、『ジャーマンアイリス』を飾ってくださいました。

『ジャーマンアイリス』は、ドイツなどのヨーロッパ諸国で品種改良を行っていたアヤメ科の植物ということから、「ドイツのアヤメ科植物」という意味を持つ German Iris という英名になったそうです。

『ジャーマンアイリス』の花言葉は、「素晴らしい出会い」です。5月22日から“あいさつチャンピオンウィーク”が子ども達の取組として行われます。いつでも、どこでも、誰にでも、笑顔でステキなあいさつができる今富っ子に、この先、どんな素晴らしい出会いが待っているのか楽しみです。

高齢者クラブにお世話になり、1・2年生がイモの苗を植えました。



【お知らせ】
6年生の修学旅行の実施時期を、今年度から秋に変更しました。しっかりと事前学習を行う時間を確保し、修学旅行をより充実したものにするためです。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

文責：山名 聡